

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準にかかる院内掲示

ア. 退棟患者数と回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳について

算出期間：2024年5月1日～2024年7月31日

	退棟者数
状態1 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷（慢性硬膜下出血腫含む）、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、義肢装着訓練を要する状態	23名
状態2 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷（慢性硬膜下出血腫含む）、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、義肢装着訓練を要する状態で、高次脳機能障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷等を伴う	38名
状態3 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	9名
状態4 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0名
状態5 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名
状態6 股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名

イ. 回復期リハビリテーション病棟における実績指数について

算出期間	2024年2月～ 2024年7月
実績指数	40.25 点

※ 実績指数の算出について

- ①退棟時のFIM（機能的自立度評価法）の得点から、入棟時のFIM運動項目を控除したもの。
 - ②各患者の入棟から退棟までの日数を当該患者の入棟時の状態によって規定された上限日数で除したもの。
- ①の総和/②の総和